

S&P 日本 500 指数に関するコンサルテーションについて

東京、2017年4月7日：S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス(S&P DJI)は、S&P 日本 500 指数及びその構成指数の変更の可能性に関して投資コミュニティの関係者とコンサルテーションを行っています。

S&P 日本 500 指数は、S&P/TOPIX 150 指数(大型株セグメント)、S&P 日本中型株 100 指数、及び S&P 日本小型株 250 指数から構成されています。これらの指数は、日本の株式市場の中で流動性が高く投資可能な銘柄のパフォーマンスを測定するように設計されています。また、S&P/TOPIX 150 指数は、S&P グローバル 1200 指数の構成指数でもあります。S&P DJI は、これらの指数について以下のような変更を行うことを検討しています。

時価総額のスクリーニング：指数構成銘柄は、レビュー参照日の市場取引終了後に浮動株調整後時価総額を用いてレビューされます。時価総額の変動による影響を抑えるために、S&P DJI では、指数構成銘柄のレビュー期間中に時価総額をスクリーニングする上で、浮動株調整後時価総額の3ヶ月平均を使用することを提案しています。

指数選択のバッファー：S&P DJI では以下の通り、ポートフォリオの売買回転率を抑えるために、現在の指数構成銘柄の除外及び入替に対してバッファーを導入することを提案しています。

- 各レビュー時点において、指数ユニバースの銘柄は浮動株調整後時価総額の3ヶ月平均によりランク付けされます。
- 現在の構成銘柄が以下に詳述した基準以下にランク付けされた場合、その銘柄は除外されます。
- 構成銘柄以外の銘柄で、時価総額が最大の銘柄(代表的な時価総額セグメント内にランク付けされている銘柄)が、代替銘柄として指数に加えられます。ただし、その他全ての適格要素を満たしていることが条件となります。

提案された除外及び入替のランク基準は以下の通りです：

| 指数 | 除外 | 代替銘柄 |
|------------------|--------------------|----------------------------|
| S&P/TOPIX 150 指数 | 220 位以下にランク付けされた銘柄 | 上位 150 にランク付けされた銘柄 |
| S&P 日本中型株 100 指数 | 330 位以下にランク付けされた銘柄 | 151 位から 250 位までにランク付けされた銘柄 |
| S&P 日本小型株 250 指数 | 650 位以下にランク付けされた銘柄 | 251 位から 500 位までにランク付けされた銘柄 |

新たに追加される銘柄の浮動株比率：指数に採用される銘柄は、流動性の高い投資可能な銘柄である必要があります。したがって、S&P DJI では、新たに指数に加えられる銘柄に対して最低浮動株比率要件を導入することを提案しています。新たに指数に追加されるためには、少なくとも 50%の浮動株比率が必要となります。

世界産業分類基準(GICS)セクターのバランス基準：S&P DJIでは、代表的なセクターのウェイトを確保するために、S&P日本 500 指数及びS&P/TOPIX 150 指数における各世界産業分類基準(GICS®)セクターのウェイトがS&P 日本 BMI指数におけるセクターのウェイトから±3%以内に維持されることを提案しています¹。

¹ S&P/TOPIX 150 指数に関して、電気通信サービス・セクターのウェイトの S&P 日本 BMI 指数からの乖離は、2017年3月時点で 2.59%です。S&P/TOPIX 150 指数及び S&P 日本 500 指数のその他全てのセクターは、S&P 日本 BMI のセクター・ウェイトの±2%に維持されています。

インパクト分析

2017年3月の実際のリバランスからの売買回転率と、提案されたメソドロジーの変更がそのリバランス時に適用されていたと仮定した場合における一方向の売買回転率について、以下に詳細を示します。

| 指数 | 2017年3月 | |
|------------------|----------------------------------|------------------------------|
| | 現在のメソドロジーを用いた実際の リバランス時の売買回転率 | 提案されたメソドロジーを用いた一 方向の売買回転率 |
| S&P/TOPIX 150 指数 | 0.79% | 1.02% |
| S&P 日本中型株 100 指数 | 8.46% | 9.21% |
| S&P 日本小型株 250 指数 | 5.00% | 4.23% |
| S&P 日本 500 指数 | 0.18% | 0.17% |

質問

1. D 指数構成銘柄のレビュー時に時価総額のスクリーニングを行う上で、浮動株調整後時価総額の3ヶ月平均を用いる提案に同意しますか？
2. 現在の指数構成銘柄の除外及び入替を行う上で、ランク基準を設ける提案に同意しますか？
 - a. 現在の構成銘柄の除外に関して、提案された基準に同意しますか？
 - b. 提案された基準に同意しない場合、どのような基準が良いと思いますか？
3. 指数に新たに銘柄を追加する際に、浮動株比率要件を設ける提案に同意しますか？
 - a. 提案された最低浮動株比率に同意しますか？
 - b. 提案された最低浮動株比率に同意しない場合、どのような浮動株比率が良いと思いますか？
4. GICS セクターのバランス基準を設ける提案に同意しますか？
 - a. 提案された±3%の維持範囲に同意しますか？
 - b. 提案された維持範囲に同意しない場合、どのような維持基準が良いと思いますか？

S&P DJIでは、貴社の見解や好みを適切に評価する上で様々な市場参加者から情報を収集しているため、貴社がこの相談に参加していただくことは非常に重要です。貴社からのご回答については守秘義務を果たします。2017年5月26日までにこの調査にご回答いただければ幸いです。この日付を過ぎた場合、ご回答を受け取ることができませんので、ご容赦ください。S&P DJIでは指数委員会の最終レビュー前に、この問題を検討し、レビューの一環として回答者からのご説明をお願いする場合があります。提出期限後における質問に対する別の選択肢については、相談に関して再度一般公開することが必要となります。

この相談に参加するには、index_services@spglobal.com で S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスまでご回答をお送りください。

全てのコメントをレビュー・検討した後に最終決定が下されます。ただし、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスは、ご回答に従うことを保証するものではなく、またはその義務もありません。この調査により、変更が行われない場合もあります。S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスが指数メソドロジーの変更を決定した場合、弊社のウェブサイト上でその旨を報告いたします。

調査にご協力いただき有難うございました。

S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスに関する詳しい情報については、www.spdji.com をご覧ください。

S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスについて

S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスは、指数ベースのコンセプトやデータ、リサーチを提供する世界最大のグローバル・リソース企業であり、S&P 500®及びダウ・ジョーンズ工業株平均®といった金融市場の代表的指標を算出しています。当社の指数に基づく金融商品に投資される資産額は、世界の指数プロバイダーの中で最大規模となっています。1,000,000 超の指数や、革新的で透明性のあるソリューションを120年以上にわたり構築してきたことにより、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスは、投資家が市場を測定し、売買する方法を定義しています。

S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスは、S&P グローバル (NYSE: SPGI)のグループ会社であり、個人や企業、政府が確信を持って意思決定を行う上で不可欠な情報を提供しています。詳しい情報については、www.spdji.com をご覧ください。

詳しい情報について:

S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス
index_services@spglobal.com